特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人あやべ福祉フロンティア
評価実施年月日	令和８年８月３１日
評価者氏名（職名）	金川　めぐみ　（和歌山大学経済学部教授）
評価対象年度（期間）	令和７年度（令和７年４月１日～令和８年３月３１日）

１　法人の事業活動，組織運営等に関する状況

（１）事業活動について

ア　事業計画等を策定しているか。

項　目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
①　各事業年度の事業計画は，組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	✓	□	☑	□
②　法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	✓	□	☑	□

イ　法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
✓	□	☑	□

→　法人自己評価が「はい」の場合，以下の項目について記入

項　目			法人全体の労力のうち各項目が占める割合（※１）
事業（※２）	主たる事業	第１位：(移送部)	４５％
		第２位：(清山荘)	４０％
		第３位：(お助け)	５％
		介助部	５％
	主たる事業以外の事業		％
事業以外（管理部門等）			５％

※１　例：総従事時間数に占める各事業及び事業以外（管理部門等）への従事時間数の割合（表の合計は，100%となる。）

※２　実施している事業の数の関係などで，「主たる事業」の「第２位」，「第３位」，「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は，「－」を記入

（２）組織運営について

ア　定款に定める権能に基づき，総会で審議・意思決定が行われているか。

項　目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
①　定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	✓	□	☑	□
②　定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	✓	□	☑	□
③　決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	✓	□	☑	□

イ　【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき，理事会で審議・意思決定が行われているか。

項　目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
①　定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	✓	□	☑	□
②　定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また，総会の審議事項との区分は明確か。	✓	□	☑	□
③　決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	✓	□	☑	□

ウ　監事による監査は適正に行われているか。

項　目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
①　監事はその法人における特別な立場を理解し，第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が，監査まで行っていないか等）。	✓	□	☑	□
②　監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	✓	□	☑	□
③　監事は定款に定める職務を執行しているか。	✓	□	☑	□

（３）情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項　目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
①　活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また，適時に更新しているか。	✓	□	☑	□
②　活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	✓	□	☑	□
③　法定の閲覧書類（事業報告書等，役員名簿，定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	✓	□	☑	□
④　事業報告書等の記載内容は，外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	✓	□	☑	□

※　例：概要の記載や，写真やデータなどを用いたレイアウト等，読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

（４）コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項　目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
①　事業・活動に関連する法令※を把握し，遵守しているか。	✓	□	☑	□
②　重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	✓	□	☑	□

※　対象となる法令：特定非営利活動促進法，登記に関する法令（組合等登記令），税に関する法令（法人税法等），労務に関する法令（労働基準法等），事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供の場合は，介護保険法）など。

（５）外部評価について

活動内容を評価し，改善する仕組みを有しているか。

項　目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
①　これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	✓	□	☑	□
②　外部評価を受けた結果を，理事会等で審議する機会を設ける等，改善する機能を有しているか。	✓	□	☑	□

２　法人に対する支援の状況

（１）寄附について

項　目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
①　法人の事業活動のため，寄附の募集を行っているか。	✓	□	☑	□
②　より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。	✓	□	☑	□

→　①の法人自己評価が「はい」の場合，以下の項目について記入

項　目	法　人　記　入
①　寄附の呼掛け対象	**一般市民**
②　寄附を獲得するための取組・工夫（会報誌や法人ホームページで募集，イベントでの呼掛け　等）	**送迎用マイクロバス等に募金箱設置** **・イベント・教室等での寄付募集**
③　評価対象年度における寄附者の人数及び金額	人数：６人　　金額：３８１，０１１円
④　寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から （大幅増　・　増　・　ほぼ増減なし　・　減　・　大幅減）
	＜理由＞ 個人への呼びかけ、善意の少額寄付にとどまっている為
⑤　寄附の獲得に取り組むうえでの課題	企業寄付等賛同を得て図りたいが、人員、時間的に余裕がない

（２）寄附以外の支援について

項　目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
①　寄附以外に，市民，地域団体，行政等から何らかの支援（ボランティア，法人実施事業への協力，補助金・助成金等）を受けているか。	✓	□	☑	□
②　①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	✓	□	☑	□

→　①の法人自己評価が「はい」の場合，以下の項目について記入

項　目	法　人　記　入
①　支援の概要 （ボランティアの場合は従事人数，従事時間数，従事内容など）	**行政から補助金の支援** （ボランティアの場合　従事人数：１００人 従事時間数：　　従事内容：移送サービス・清山荘行事支援等　）
②　寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	**団体補助金・行政委託・補助金等へ依頼活動**

③　寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	**支援依頼を行うスタッフ不足**

３　法人の事業活動に関する所見

※　活動の意義・成果等，広く社会に対して活動の成果を発信しているか，地域団体等の他団体との連携の状況など。

令和 7 年度の事業実施報告書を見ると、1 運転部、2 介助部、3 企画部、4 清山荘の 4 事業が実施されており、いずれの事業も本 NPO 法人の活動意義をよく理解し実施されている。上記事業の成果として、主要事業である 1 の「運転部」事業は、令和 7 年度利用会員約 1,093 人、総送迎回数 32,259 回と堅調であり、本事業の成果は大きい。また 2 の介助部における市立病院の病院介助ボランティアの安定実施や、4 の清山荘部門の管理における実績は入館者前年度比 104.4%と向上している。これは 3 の企画部が実施した令和 7 年度「新規入館者獲得プロジェクト」の活動成果も大きいところであろう。団体の活動趣旨を理解し適切な活動をされており、事業運営費に見合った活動実績を上げており成果がある。

さらに社会に対しての活動成果発信として、清山荘の運営管理を通じて、特に綾部市民に対し情報発信を積極的に行っていることが事業報告書からわかる。「せいざん・ユニセフまつり」も引き続き実施され、令和 7 年度は実績 916 人と前年度比 177.2%を記録した。

HP（https://www.ayabe-wf.net/）も閲覧者にわかりやすく整理され、新着情報の発信につとめておりこの点を高く評価できる。HP 上での会報等の定期発信もつとめておられ、この間の広報活動につき大いに評価したい。

４　法人の組織運営に関する所見

※　財務管理の透明性，組織体制の状況など。

同法人の理事会議事録、総会議事録、事業報告書等の各種書類を確認したところ、財務管理の透明性について問題ない状況であった。

また組織運営の体制等も、各種書類を確認したが、いずれも問題はないと確認できた。
情報公開についてであるが、事業報告書などもきちんと作成できており、こちらの適切性についても十分であると考える。

コンプライアンス（法令遵守等）については、同法人の服務規程および会員への研修会の内容を確認した。特に福祉有償運転を実施する事業を有する NPO としては、安全管理やリスクマネジメントは大事な要素だが、この点も令和 7 年度の安全運営管理者講習会や会員研修の中で実施されていることが確認でき、適切に配慮されていると考える。

また、組織運営の透明化のためには、会員相互の意思疎通が図られているかが重要な要素であるが、令和 7 年度においても、「ボランティア交流会」や「運転部意見交換会」等、会員の意見をくみ取る場の設定が工夫されており、この点についても問題ない運営がされていると考える。

５　法人に対する支援に関する所見

※　より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかなど。

本外部評価書にも記載があるように、寄付を獲得する為の取組として、送迎用マイクロバス等に募金箱を設置したり、イベント、教室での寄付募集を随時行っており、法人に対する支援として寄付を受けるための工夫の取組は一定程度行っていると考えられる。

また寄付以外の支援として、運転部を実施するためには継続的な人的支援の確保（運転会員の維持・増強と質の担保）が大事になってきており、その点もフロンティア講習会などの機会を踏まえて実施されていると考える。

今後は法人におけるイベント実施等のさまざまな寄付の機会をとらまえて、さらに多くの寄付や寄付以外の支援も実施も着実に行えるよう、法人内部での検討を引き続き進めて頂きたい。なお本外部評価書にも記載されているように、人員と時間的余裕の課題はあるが、企業寄付等の取組も今後進めて頂くことを期待する。

令和 6 年度に創設 25 周年を迎えた「地域に根差した」NPO 法人として、その活動内容の意義は深く、これまでの活動実績を評価するとともに、さらに必要とされる地域ニーズを敏感に把握しながら、更なる活動を継続していかれることを期待する。

≪評価対象法人記入欄≫

６　外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
人員と時間的余裕	現在、移送部（運転部）のシステムは二十数年前のシステムを使用しており、新たに効率的なシステムを導入（新システム）するため、新たな人材を採用した。 新規ドライバーについて、キャンペーンを行うなどして獲得を目指したが、なかなか功を奏でず、今後は個々に声掛けをし、人材を集める予定。 昨年、年会費の集金が出遅れたため、利用会員が減少したが、今年度は集金人数を増やし、より細やかに対応し、会員の自動的な退会を防ぐなど手立てを行った。 また、新規利用会員も毎月約１５人～２０人程度コンスタントに入会しており会員数の増加が見込まれる。
企業寄付	寄付について理事長が担当していたが、一人では限界がある為、イベントごとに寄付箱など設置する。 企業からの寄付については、従来道り対応してゆくより多くの賛同が得られるよう努力してゆく。
	ドライバー向けの安全運転講習会については、例年道り今年度中に実施予定。

備考（審査委員会のコメント）

今後、利用者が増加していくことが予想されるので、物価上昇等を踏まえた料金体系の見直しを検討してはいかがか。 また、公共交通の課題として、地域や分野が異なる法人の事例を参考にしたり、住民を巻き込んで議論したりと、様々なアプローチをしてみてはいかがか。

この様式について

○　京都府又は京都市の条例指定を受けたＮＰＯ法人（特定非営利活動法人）の外部評価を実施する際の基本的な評価項目を提示したものです。

○　所轄庁（京都府又は京都市）に提出された評価結果は，京都府・京都市の審査委員会に報告するとともに，所轄庁において一般に公開します。

○　記入欄の大きさは，適宜調整してください。また，他の評価項目が必要な場合は，適宜項目を追加してください。

記　入　要　領

①　まず，外部評価を受ける**評価対象法人**が，１～３ページの**「１　法人の事業活動，組織運営等に関する状況」**及び**「２　法人に対する支援の状況」**のチェック欄のうち，**「法人自己評価」**欄に自己評価結果を記入してください。

　また，１ページの１（１）イの主たる事業等に割く労力の割合に関する表及び３ページの**「２　法人に対する支援の状況」**の二つの**「法人記入」欄**についても，評価対象法人が記入してください。

②　その後，**評価者**が１～３ページの**「１　法人の事業活動，組織運営等に関する状況」**及び**「２　法人に対する支援の状況」**のチェック欄の**「外部評価」**欄（太線枠内）に外部評価結果を記入してください。

　また，４ページの三つの所見欄**「３　法人の事業活動に関する所見」**，**「４　法人の組織運営に関する所見」**及び**「５　法人に対する支援に関する所見」**（太線枠内）には，チェックリストの評価項目を含め**評価者**が評価した結果について，それぞれ分けて記入してください。

③　５ページの≪評価対象法人記入欄≫の**「６　外部評価結果への対応状況」**に，外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況について，外部評価を受けた**評価対象法人**が事項ごとに分けて記入してください。